

令和4年度 幼保小連携推進地区事業

大口台地区 活動報告

大口台小学校 松見保育園

推進テーマ

～自己肯定感を育てる幼保小の交流活動～

▶ 設定の理由

本校は、地域とのつながりを大切にし、まちとともに歩む学校づくりに取り組んでいます。また、本校では、「自己肯定感」を育むことを大切にしています。

松見保育園では、主体性を大事にしていることを知り、保育園で「できる」「知っている」経験を、小学校でも発揮できるカリキュラムを考えていくことで、子どもたちがより安心してのびのびと生活できるのではないかと考えました。そこで、入学前の子どもたちの不安を取り除き、小学校への期待をもてるよう、今までの取り組みを見直しました。さらに、来年度以降新たにどのような交流や活動ができるのか、園と協力して探っている段階です。

活動内容

職員の連携

- 年間計画を立て、子どもたちの学びを共有する
 - ・研修会、情報交換会
 - ・保育参観、小学校授業参観
- 教育備品を見直し、環境を整える

子どもたちの交流

- 年間計画を立て、互いを身近に感じたり、小学校生活の見通しをもてるようにする
 - ・音読発表会（動画）
 - ・運動会練習見学
 - ・校内作品展出品・見学、感想発表会（お手紙交換）
 - ・新春かるた大会・学校生活紹介・校内見学・「待ってるよ」のお手紙



アプローチカリキュラム スタートカリキュラムの見直し

職員の連携①

小学校授業参観（5月）

- ▶ 入学して1ヶ月経った子どもたちの様子を保育園の先生方に知っていただきました。



ひらがなの学習は、
言葉あそびの活動
とつながって
いるな。



コロナ禍で配膳ができ
なくなっているが、遊
びを通して体験したり、
年度末には配膳をさせ
たりしてみようかな。

紙パックやスト
ローの使い方に
慣れておく必要
があるな。



職員の連携②

保育参観（7月）

- ▶ 保育園でどのような生活をしているのか、様子を見てきました。



お祭りという場を設定することで、子どもたちが主体的に取り組んでいるな。生き生きと活動している様子がとても印象的だった。



生活科の学習と
つなげられそう。



時計を見て行動することを園でも始めているんだな。

職員の連携③

職員実技研修会（8月）

- ▶ 保育園の先生方に来ていただき、1年間の園児たちの生活や、保育士が配慮していること、保護者との関係づくり等について教えていただきました。保育園から小学校に進学する際に戸惑いそうなところがよく分かりました。



1年生に入学するまでには、ここまでできるようにすればいいのね。他に、小学校と保育園の違うところはどこかな。

保育園と小学校は、少し違うところがあるから、4・5月は、こんな配慮をすると、保護者も安心できるんだね。



子どもたちの交流①

音読発表会（7月）

- ▶ 2年生が「スイミー」 1年生が「大きなかぶ」の音読劇をビデオにとり、保育園で鑑賞してもらいました。

園児は、知っているお兄さんやお姉さんがいないかを探しながら鑑賞したようです。

長いセリフを言っていて
カッコよかった。



一生懸命で、カッコよかった。

知っている
お兄さんお姉さんが
写っていて
うれしかった。



子どもたちの交流②

運動会練習見学（10月）



- ▶ 1. 2年生合同の運動会練習を見ていただきました。



自分たちだけで並べるなんて、さすが1年生！ カッコいい！



ぼくたちにも できそうだな。

園でも「かかし」や「ブリッジ」等をやっているのので、園でできるようになったことが小学校の活動に繋がるのは、すごくいいと思いますね。

子どもたちの交流③

校内作品展出品・見学（12月）

- ▶ 体育館で行われた校内作品展に、園児たちにも出品してもらいました。
- ▶ 見学にも来てもらい、交流をすることができました。
- ▶ 1年生が園児たちに、一緒に活動して楽しかったことをお手紙に書きました。

上手だね。
どうやって描いたの。



ドキドキする。
ぼくのペアは
だれかな。

ペアを決める

久しぶりにお兄さん
お姉さんになれて
うれしいな。



絵の具を使って
描いたよ。



質問タイム

子どもたちの交流④

新春かるた大会（1月）

- ▶ 体育館で1年生と園児が一緒にかるたを取りました。
- ▶ 1年生が札の場所を優しく教えてあげていました。

保育園の子たちが分かりやすいようにゆっくり読むぞ。



ぼくが、札の場所を
教えてあげるよ。
ほら、あそこにある
よ。取っていいよ。

お話をしっかり
聞こうね。



子どもたちの交流⑤

学校生活の紹介（1月）

- ▶ 入学が近づいた園児たちに、給食・清掃・授業・休み時間の過ごし方などの学校生活について、1年生が絵を描いて優しく教えました。
- ▶ 園児たちは、学校での生活が分かって安心したようです。



給食の人気メニューはカレーライスです。僕たちは、とても楽しみにしています。すごくおいしいです！

入学するのがとても楽しみになってきたよ！
ワクワクする！



子どもたちの交流⑥

校内見学（1月）

- ▶ 校内を園児たちに見学してもらいました。
- ▶ 1年生の代表児童が優しく声をかけながら、園児たちを案内しました。

ここが5年生の教室だよ。

図書室ってたくさん
本があるなあ。

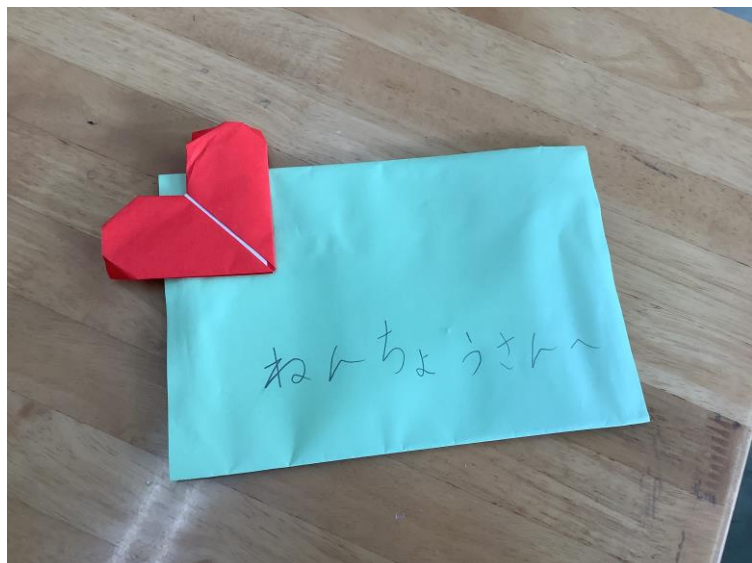
ここで本を借
りるんだよ。



子どもたちの交流⑦

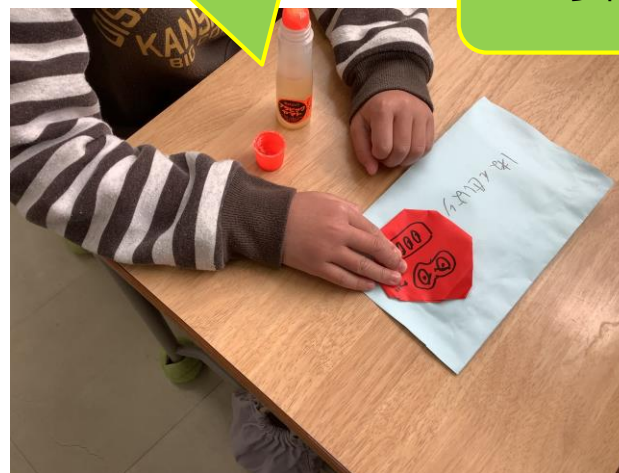
年長園児への「待ってるよ」のお手紙とプレゼント（1・2月）

- ▶ 園児たちが安心して小学校に来られるように、手紙を書きました。
また、春から育てたアサガオの種もプレゼントすることにしました。



「一緒に遊ぼうね。
待ってるよ。」
って伝えたいな。

読んでくれると
うれしいな。



成果

- 小学校、保育園で行っている活動が互いに分かり、前年度よりも交流の活動の場を増やすことができました。
- 実際に保育園の子どもたちの様子を見ることで、場の雰囲気を感じるようになりました。
- 園児たちにとって、何回か小学校に来られたことは、小学校の様子を知ったり、慣れからの安心感を得たりすることにつながりました。
- ラキュー、昔遊び用品など、保育園から小学校へのつながりを意識した環境を整えることができました。
- ICT機器など、今後も交流を行っていくうえで必要なものを準備することができました。
- 保育園と小学校で保護者との連絡の取り方に違いが出てくるため、8月の研修において「保護者のサポートのしかた」について学ぶことができました。

課題

- ◆ 互いの様子が分かってきたところで、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの見直し、実施をさらに行っていきたいと思います。
- ◆ コロナ禍で制限されている中でも、小学校との接続において必要なことの検討をしていきたいと思います。（例：給食の配膳、掃除など）
- ◆ 今年度できたことを大事にしながら、さらに、交流の場を増やしていきたいです。（例：アサガオの種を渡して、園でも育ててもらったり、作品作りに活用してもらったりする。）